

愛知県経済の現状と見通し<2014年8月>

1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	基調判断(方向等)	基調判断の 前月との 比較(注1)	水準評価 (注2)
		詳細		
総括判断	景気の現状	<p><b>景気はやや弱い動き</b></p> <p>景気は消費増税に伴う駆け込み需要の反動減もありやや弱い動き。</p>		
	当面の見通し	<p><b>景気は徐々に持ち直す見通し</b></p> <p>消費増税の影響を受けて一時的に弱い動きとなるものの、徐々に持ち直す見通し。</p>		
家計部門	個人消費	<p><b>やや弱い動き</b></p> <p>個人消費は、消費増税の駆け込み需要の反動減によりやや弱い動き。</p>		
	雇用	<p><b>回復している</b></p> <p>有効求人倍率、新規求人倍率とも全国レベルでも高水準を維持。</p>		
	住宅投資	<p><b>減速</b></p> <p>住宅投資は、消費増税の影響を受けて減速。</p>		
企業部門	企業活動	<p><b>一部に弱い動き</b></p> <p>鉱工業生産指数は2か月連続で前年比マイナス。</p>		
	企業倒産	<p><b>小康状態</b></p> <p>企業倒産は、件数、負債額とも2か月連続で減少。</p>		
海外部門	輸出	<p><b>伸び悩み</b></p> <p>名古屋港の輸出金額は2か月連続の前年比マイナス。</p>		
公共部門	公共投資	<p><b>堅調</b></p> <p>公共工事請負件数は4か月連続で増加するなど堅調な動き。</p>		

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、: 上方修正、: 据え置き、: 下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、: 晴、: 晴～曇、: 曇、: 曇～雨、: 雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話: 059-354-7102 Mail: mir@miebank.co.jp

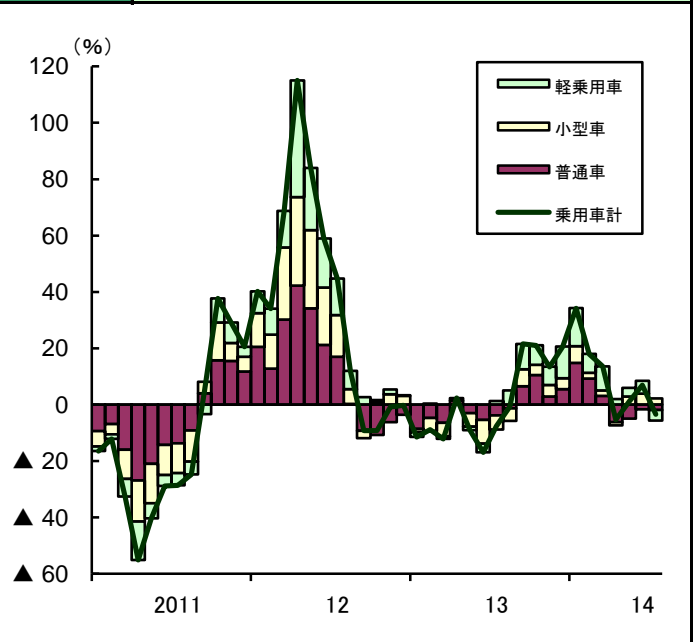
2. 個別項目の動向:家計部門

基調判断	やや弱い動き		
基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️ ☁️

**《現状》**  
 『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、6月の名古屋市内百貨店販売額は前年比+0.6%と3か月ぶりの増加。品目別にみると、主力の衣料品(同▲1.0%)と飲食料品(同▲1.2%)はマイナスとなったものの、消費増税に伴う駆け込み需要の反動で大きくマイナスとなっていた貴金属、宝石、腕時計などの高級品を含むその他(同+5.9%)が3か月ぶりの増加。  
 また、7月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、31,240台・前年比▲3.5%と3か月ぶりの前年比マイナス。車種別にみると、小型車(同+6.6%)は3か月連続のプラスとなったものの、普通車(同▲5.3%)が4か月連続、軽乗用車(同▲12.5%)が13か月ぶりのマイナス。  
 一方、『家計調査』より個人消費の動向を支出者側からみると(図表3)、6月の勤労者世帯消費支出(名古屋市内)は前年比▲22.1%と5か月ぶりの減少。

**《見通し》**  
 消費増税による駆け込み需要の反動は4月をピークに5月、6月と時間が経つにつれて縮小。物価上昇による実質購買力の低下が懸念されるものの、雇用・所得環境が増税後も堅調さをみせるなかで、今後の個人消費は徐々に回復に向かう見通し。  
 乗用車については、消費増税による駆け込み需要の反動が普通車にみられるものの、小型車、軽乗用車などでは政策効果もあり比較的底堅く推移する見通し。

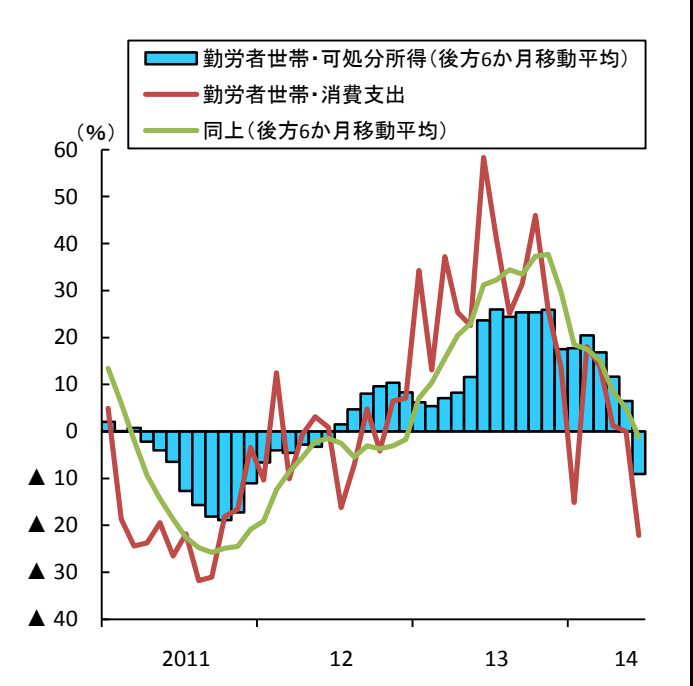
図表2 新車乗用車販売台数<前年比>



(資料)日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」(年/月)

**◆7月 新車乗用車販売台数<含む軽>**  
 31,240台 前年比▲3.5%(3か月ぶりの減少)

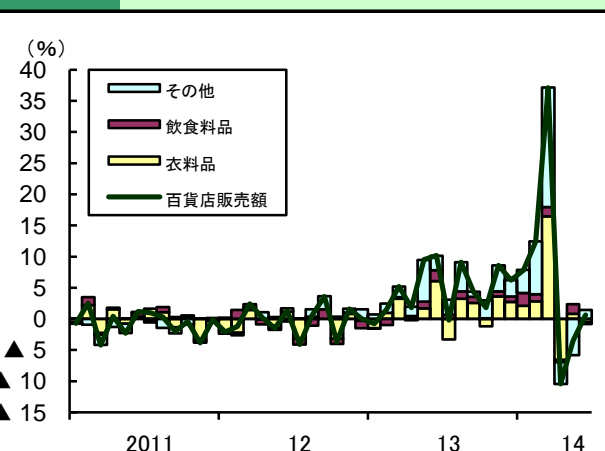
図表3 名古屋市・消費支出等<前年比>



(資料)総務省「家計調査」(年/月)

**◆6月 勤労者世帯・消費支出**  
 前年比▲22.1%(5か月ぶりの減少)

図表1 名古屋市・百貨店販売額<前年比>

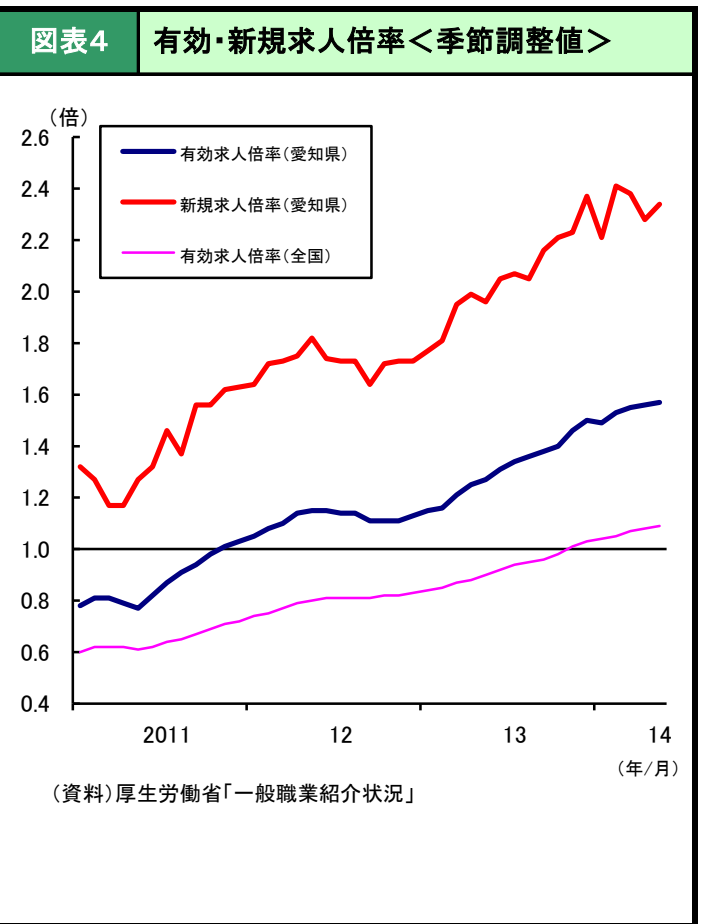


(資料)中部経済産業局「管内大型小売店販売」(年/月)

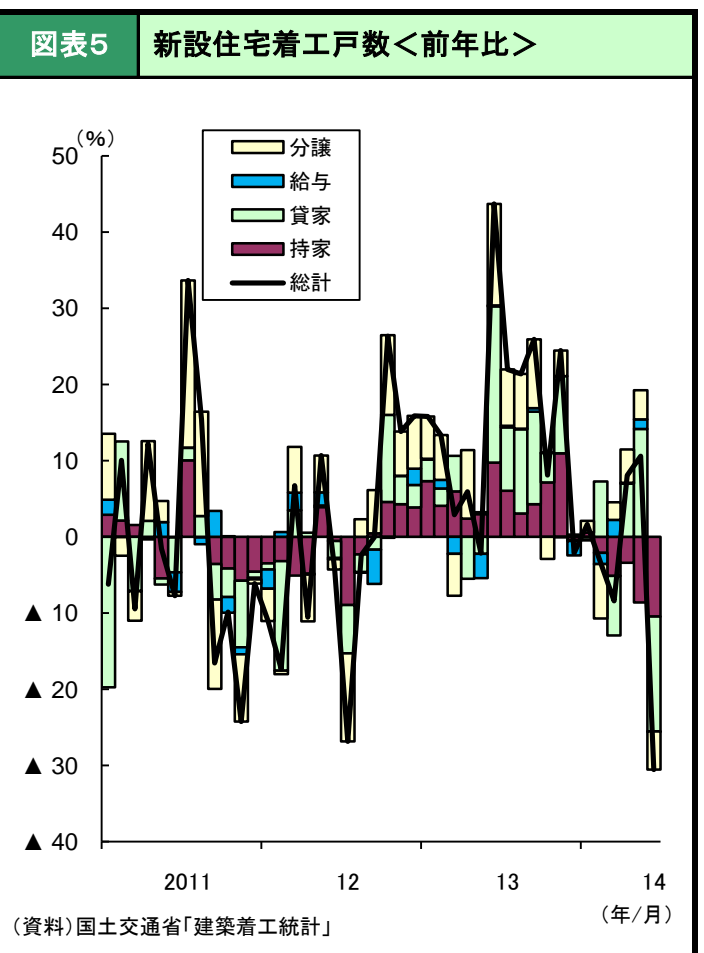
**◆6月 名古屋市・百貨店販売額**  
 335億円 前年比+0.6%(3か月ぶりの増加)

個人消費

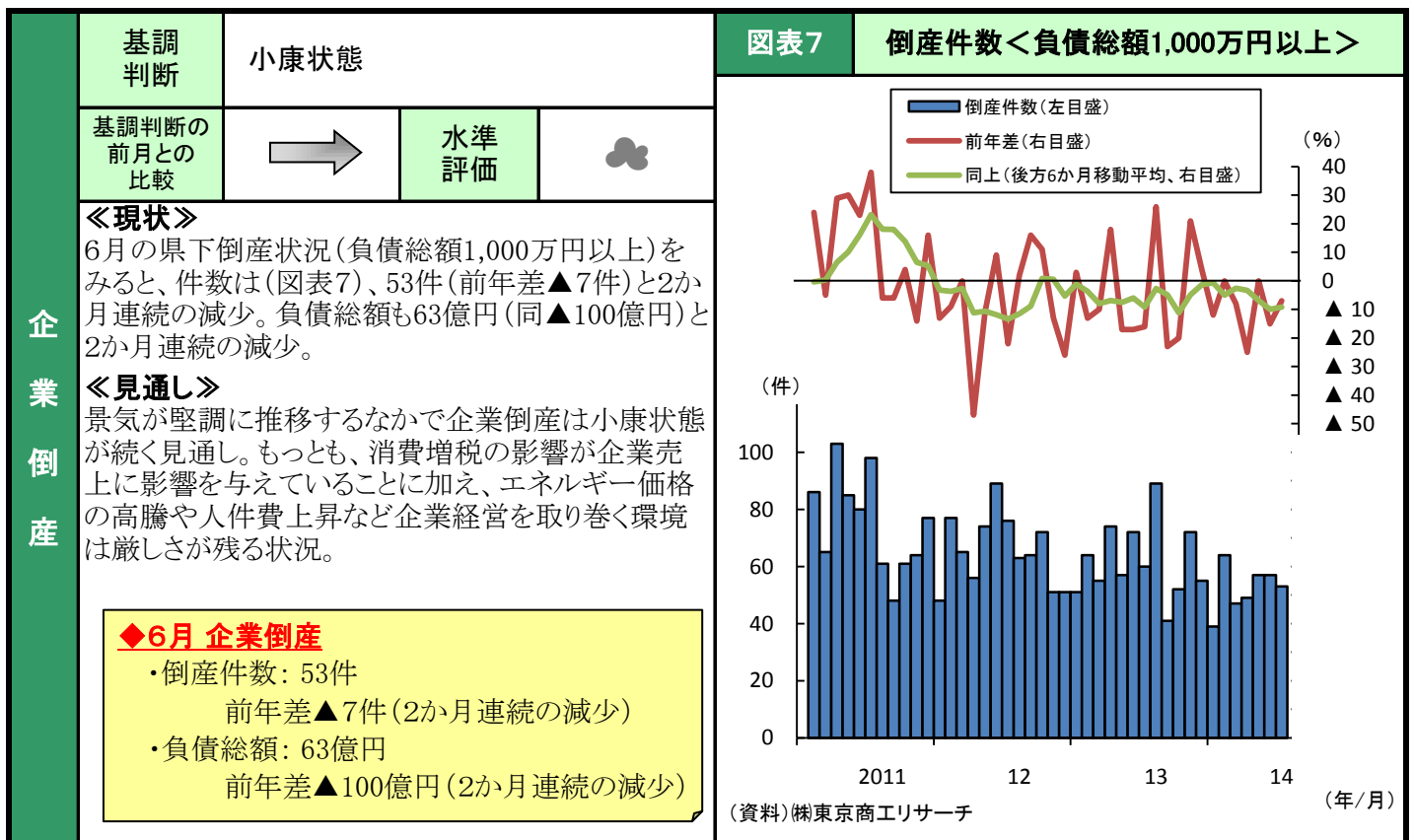
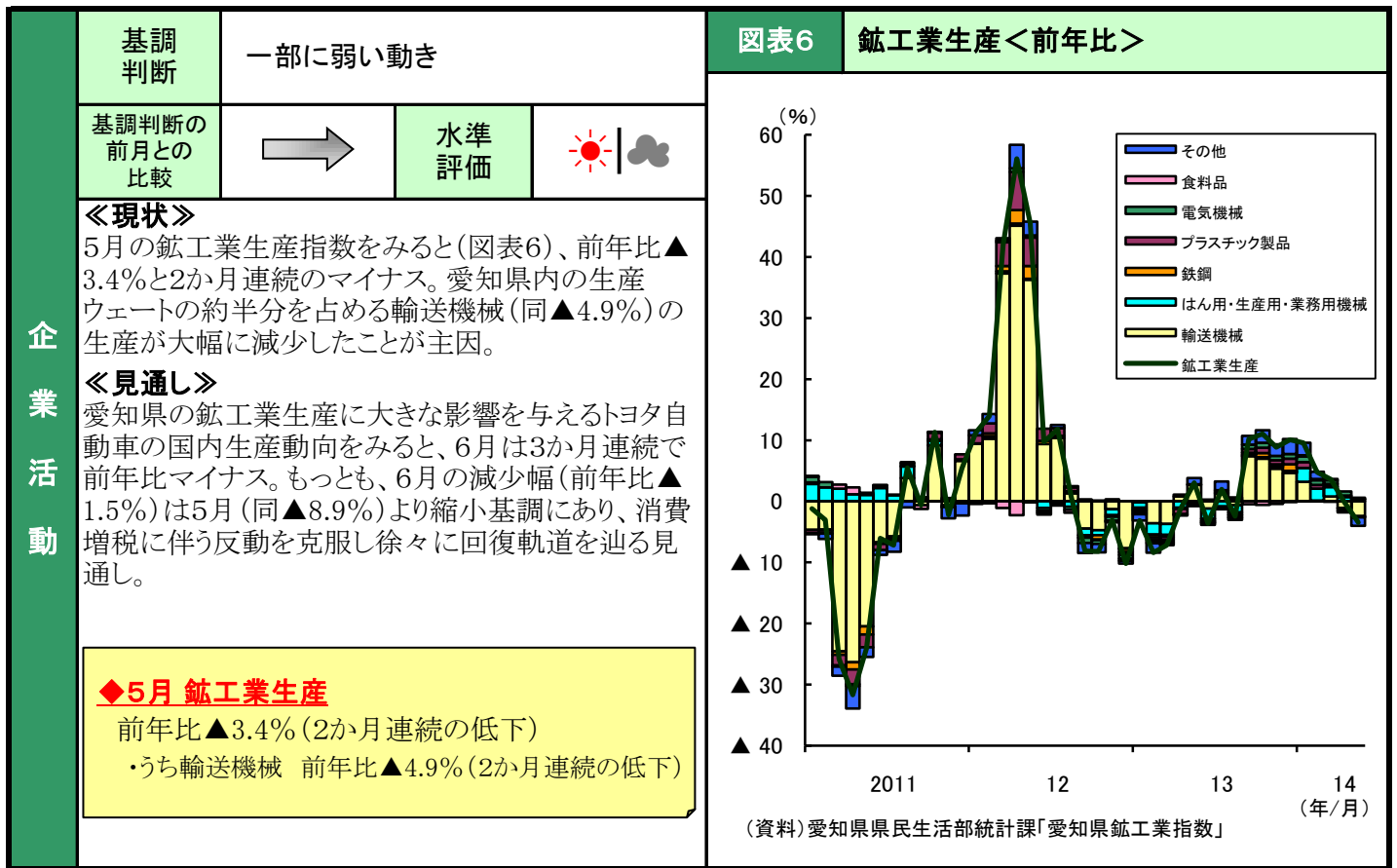
雇用	基調判断	回復している		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀
	<p>《現状》 6月の求人倍率をみると(図表4)、有効求人倍率(季節調整値)は1.57倍と前月比横ばい、新規求人倍率(同)は2.40倍と2か月連続の上昇。 愛知県は有効求人倍率で全国1位、新規求人倍率で全国2位となるなど引き続き全国レベルでも高水準で推移。</p> <p>《見通し》 消費増税の影響を受けて販売、生産の落ち込みがみられるものの、景気が底堅く推移するなか、雇用環境は回復傾向が続く見通し。</p>			
<p>◆6月 求人倍率&lt;季節調整値&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有効求人倍率:1.57倍 前月差±0.00ポイント</li> <li>・新規求人倍率:2.40倍 前月差+0.06ポイント(2か月連続の上昇)</li> </ul>				



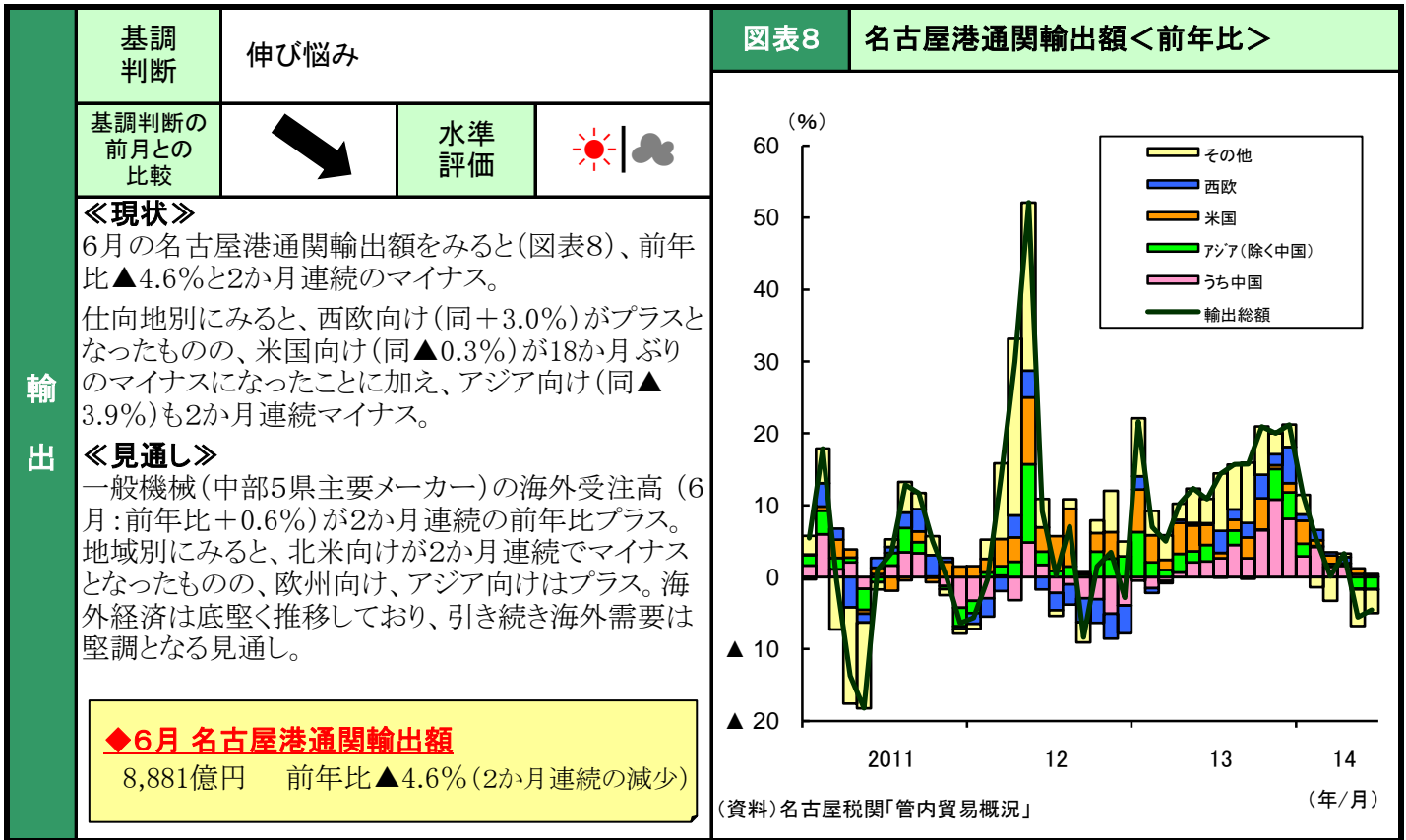
住宅投資	基調判断	減速		
	基調判断の前月との比較	↘	水準評価	☁
	<p>《現状》 6月の住宅着工戸数をみると(図表5)、3か月ぶりの前年比マイナス。利用関係別にみると、着工シェアの大きい持家(前年比▲28.9%)が5か月連続で減少したことに加え、貸家(同▲42.4%)も3か月ぶりの大幅マイナスになったことが主因。</p> <p>《見通し》 持家に消費増税による駆け込み需要の反動が残るなか、これまで堅調に推移してきた貸家に変調の兆し。もっとも、貸家については来年1月の相続増税対策やさらなる消費増税を睨んで引き続き堅調な推移となる見通し。</p>			
<p>◆6月 住宅着工戸数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4,339戸 前年比▲30.5%(3か月ぶりの減少)</li> <li>・持家:1,606戸 前年比▲28.9%(5か月連続の減少)</li> <li>・貸家:1,279戸 前年比▲42.4%(3か月ぶりの減少)</li> <li>・分譲住宅:1,450戸 前年比▲17.7%(4か月ぶりの減少)</li> </ul>				



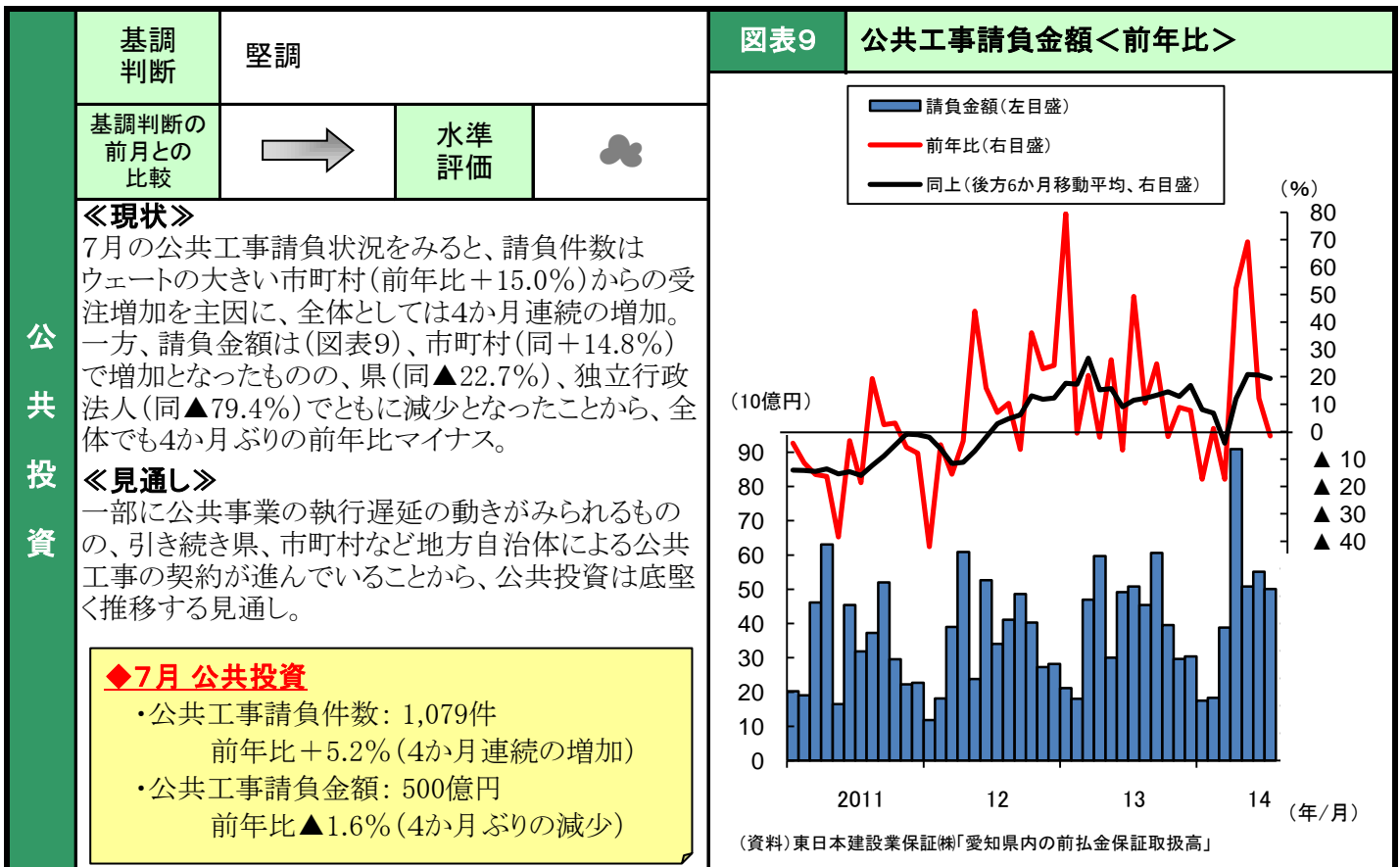
3. 個別項目の動向:企業部門



4. 個別項目の動向:海外部門



5. 個別項目の動向:公共部門



以上

## 景 気 指 標

三重銀総研  
2014/8/19

## ＜愛知県＞

(注) ( )内は前年(同期(月))比 &lt; &gt;内は季節調整済前期(月)比

	2012 年	2013 年	2013年		2014年		2014年				
			7~9	10~12	1~3	4~6	3月	4月	5月	6月	7月
鉱工業生産指数	( 10.5) -	( 1.3) -	( 3.3) <▲ 3.2>	( 10.0) < 1.7>	( 5.8) < 4.2>		( 3.6) < 0.8>	(▲ 0.2) <▲ 1.9>	(▲ 3.4) < 0.4>		
大口電力消費量(百万KWh)	25,433 ( 3.5)	25,184 (▲ 1.0)	6,678 ( 0.1)	6,295 ( 4.5)	6,357 ( 6.7)	6,297 ( 0.7)	2,216 ( 6.2)	1,993 ( 2.2)	2,061 (▲ 1.6)	2,243 ( 1.6)	
新設住宅着工戸数(戸)	56,280 (▲ 1.1)	64,478 ( 14.6)	17,378 ( 23.0)	17,370 ( 9.6)	14,257 (▲ 3.4)	13,876 (▲ 7.3)	4,613 (▲ 8.4)	4,723 ( 8.1)	4,814 ( 10.6)	4,339 (▲ 30.5)	
非居住用建築物着工床面積(千㎡)	3,107 ( 18.5)	3,700 ( 19.1)	965 (▲ 5.7)	825 (▲ 3.0)	831 (▲ 12.1)	933 (▲ 3.3)	299 ( 2.6)	339 ( 66.6)	298 (▲ 9.4)	297 (▲ 31.4)	
公共工事請負金額(億円)	4,258 ( 4.8)	4,815 ( 13.1)	1,569 ( 26.8)	996 ( 4.0)	746 (▲ 13.5)	1,968 ( 41.8)	388 (▲ 17.4)	909 ( 52.3)	508 ( 69.2)	551 ( 12.1)	500 (▲ 1.6)
大型小売店販売額(店舗調整済)	(▲ 0.9)	( 1.2)	( 1.5)	( 1.8)	( 8.8)	(▲ 2.6)	( 19.4)	(▲ 5.4)	(▲ 2.4)	(▲ 0.4)	
百貨店	(▲ 0.5)	( 4.1)	( 3.5)	( 4.9)	( 18.5)	(▲ 4.4)	( 35.2)	(▲ 10.6)	(▲ 3.4)	( 0.3)	
スーパー	(▲ 1.1)	(▲ 0.2)	( 0.6)	( 0.1)	( 4.0)		( 10.4)	(▲ 2.9)	(▲ 1.8)	(▲ 0.7)	
新車登録・販売台数(台)	268,187 ( 27.5)	256,568 (▲ 4.3)	66,154 (▲ 1.1)	62,983 ( 13.6)	86,127 ( 15.4)	51,279 (▲ 2.9)	34,878 ( 6.9)	14,022 (▲ 10.9)	15,927 (▲ 2.9)	21,330 ( 3.2)	22,694 ( 0.4)
有効求人倍率(季調済)	1.12	1.31	1.36	1.45	1.52	1.57	1.55	1.56	1.57	1.57	
新規求人倍率(季調済)	1.71	2.04	2.09	2.27	2.33	2.34	2.38	2.28	2.34	2.40	
名目賃金指数(調査産業計)	( 0.5)	( 11.0)	( 1.0)	( 2.6)	( 0.2)		(▲ 0.2)	(▲ 0.4)	( 1.9)		
実質賃金指数(同)	( 0.3)	( 0.9)	( 0.3)	( 0.7)	(▲ 1.6)		(▲ 2.2)	(▲ 4.1)	(▲ 2.3)		
所定外労働時間(同)	( 9.3)	( 0.0)	( 1.7)	( 5.2)	( 5.1)		( 6.5)	( 3.3)	( 3.5)		
常用雇用指数(同)	( 0.5)	( 0.2)	( 0.2)	(▲ 0.2)	( 0.7)		( 1.1)	( 0.6)	( 1.3)		
企業倒産件数(件)	789	730	182	166	160	167	49	57	57	53	
(前年同期(月)差)	(▲ 87)	(▲ 59)	(▲ 17)	( 13)	(▲ 33)	(▲ 22)	(▲ 25)	( 0)	(▲ 15)	(▲ 7)	
名古屋港 輸出(億円)	96,764 ( 6.8)	110,584 ( 14.3)	27,783 ( 15.2)	29,021 ( 20.7)	27,106 ( 5.2)	27,396 (▲ 2.2)	9,468 ( 0.2)	10,009 ( 3.3)	8,506 (▲ 5.6)	8,881 (▲ 4.6)	
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	( 0.2)	( 0.1)	( 0.4)	( 1.1)	( 1.4)	( 3.2)	( 1.4)	( 3.0)	( 3.2)	( 3.2)	

## ＜東海3県(三重・愛知・岐阜)＞

	2012 年	2013 年	2013年		2014年		2014年				
			7~9	10~12	1~3	4~6	3月	4月	5月	6月	7月
鉱工業生産指数	( 9.4) -	( 0.6) -	( 5.4) < 1.6>	( 6.6) < 0.6>	( 9.5) < 5.6>	( 2.3) <▲ 5.1>	( 9.1) < 0.5>	( 1.5) <▲ 4.9>	( 1.0) < 3.4>	( 4.7) <▲ 6.2>	
新設住宅着工戸数(戸)	76,468 (▲ 0.6)	87,806 ( 14.8)	22,948 ( 19.6)	23,995 ( 11.3)	19,002 (▲ 4.3)	18,755 (▲ 10.7)	6,110 (▲ 10.2)	6,365 ( 1.3)	6,198 (▲ 1.6)	6,192 (▲ 26.5)	
大型小売店販売額(全店)	(▲ 0.5)	( 1.0)	( 1.5)	( 1.7)	( 8.1)	(▲ 1.9)	( 17.4)	(▲ 4.0)	(▲ 1.7)	(▲ 0.1)	
同 (既存店)	(▲ 0.9)	( 0.7)	( 1.2)	( 1.3)	( 7.6)	(▲ 2.6)	( 17.2)	(▲ 4.9)	(▲ 2.3)	(▲ 0.8)	
有効求人倍率(季調済)	1.04	1.21	1.26	1.35	1.41	1.45	1.43	1.44	1.45	1.46	
新規求人倍率(季調済)	1.58	1.87	1.92	2.07	2.13	2.14	2.18	2.09	2.14	2.19	
企業倒産件数(件)	1,086	1,015	248	246	240	236	82	85	82	69	67
(前年同期(月)差)	(▲ 92)	(▲ 71)	(▲ 38)	( 30)	(▲ 15)	(▲ 30)	(▲ 19)	(▲ 1)	(▲ 11)	(▲ 18)	(▲ 49)
域内外国貿易 純輸出(億円)	50,108	60,891	14,960	16,610	11,701	14,254	4,431	5,853	3,479	4,922	
輸出(億円)	132,058 ( 8.4)	151,826 ( 15.0)	38,371 ( 17.9)	40,288 ( 23.7)	37,453 ( 8.2)	37,828 (▲ 1.8)	13,079 ( 3.6)	13,676 ( 4.8)	11,642 (▲ 6.5)	12,510 (▲ 4.1)	
輸入(億円)	81,950 ( 5.3)	90,936 ( 11.0)	23,411 ( 10.0)	23,678 ( 22.0)	25,753 ( 19.7)	23,574 ( 5.6)	8,647 ( 21.8)	7,823 ( 0.8)	8,162 ( 3.4)	7,589 ( 13.7)	